資料３

地球環境子ども村事業について

亀岡市生涯学習推進審議会資料

地球環境子ども村事業の紹介

〇地球環境子ども村事業の目的

亀岡は豊かな自然の中で人間と多くの生き物たちが共生しながら暮らしています。

亀岡の宝でもあるこの素晴らしい自然環境を後世に引き継いでいくためにも、まずは、次代を担う子どもたちが豊かな自然環境や生活体験を実際に亀岡のフィールドに出て積み重ねることで、地球環境問題を自らの問題とし、真剣に受け止めることができる人間に成長してくれることを願っています。

このような願いから、亀岡市全域を子どもたちに学びと育ちの場として提供し、自発的な環境学習を推進し、健やかな子どもたちの育成を図るとともに、全ての市民が国の内外の人々と連携しながら、環境に配慮したまちづくりの推進を目指しています。

〇各種事業の概要

１．亀岡生き物大学
「亀岡生き物大学」は、亀岡市の小中学生が子ども研究員として、１年間を通じて活動し、亀岡の自然環境の素晴らしさや生き物の多様性、地球環境の保全の在り方を学ぶ講座です。また、子どもたちだけでなく、保護者である大人たちにとっても学びを深める機会とすることで、家庭に帰った後の継続した学びの場づくりについても推進しています。 初級コースから始まる活動は、中級・上級とコースが上がるにつれて講座の内容も変化し、最長で３年間にわたって亀岡市の自然環境について学びを深めることができます。 また、上級コースの卒業生は、後輩研究員の学びをサポートする「キッズクラブ」に所属し、それまでの学びを他者に伝えながら自らの学びもさらに深める活動に参加しています。
２．亀岡生き物大学「特別講座」
「特別講座」は、亀岡の自然環境を網羅的・継続的に学ぶ「亀岡生き物大学」に対し、各分野に特化したテーマで学びを深めることができるシリーズです。また、特別講座は単発イベントになることから、「亀岡生き物大学」のような継続的な学びの場に参加することが難しい人でも、参加したいときに自分の学びたいテーマを選択して学習できることが特徴です。

３．来村事業
地球環境子ども村がある亀岡市交流会館（宮前町神前）の周辺にも亀岡市の豊かな自然が広がります。また、交流会館内の展示スペースには、亀岡市の自然や生き物について学べる資料を展示しており、普段から亀岡市の自然環境や環境保全の在り方について学びを深める場が用意されています。 この来村事業では、亀岡市内の幼稚園、保育園、小学校などから校外学習の一環として来村していただいた際に、地球環境子ども村のスタッフが学習の手助けをすることで、実際の自然との触れ合いのなかから亀岡市の自然環境の豊かさを知っていただいています。
４．講師派遣事業
市内の教育機関を始めとする各機関からの要請に対し、地球環境子ども村から講師を派遣・紹介することで、より身近な自然環境のフィールドを活用した環境学習を推進しています。 地球環境子ども村から積極的に地域に出ていくことで、普段、環境学習に興味の低い人たちにも、亀岡市の自然環境の豊かさや日常生活を通じて環境保全を考える重要性を発信しています。
５．協力・共催事業
地球環境子ども村と同じ目的を持って活動している市民団体や教育機関、企業などと連携し、事業の実施に協力することで、より効果的な学びの場づくりに努めています。また、それらの各種団体とのネットワークを強化することで亀岡市における環境学習の輪を広げています。

実施事業の状況　（平成26年度～28年度）

平成26年度

カテゴリー	事業名	件数	人数
亀岡生き物大学	開講式	1	99
	水辺の教室	1	96
	星空教室	中止	—
	昆虫教室	1	60
	森林教室	1	19
	カイコ教室	1	31
	薬草教室	1	28
	草花教室	1	35
	環境教室	1	48
	野鳥教室	1	8
	閉講式	1	73
	※登録家族数	49家族（137人）	
合計		10	**497**

カテゴリー	事業名	件数	人数
特別講座	タンポポ教室	1	21
	自然科学体験ツアー	1	30
	林業体験教室	1	27
	星空ウォッチング	1	0
	チリメンモンスターを探せ	3	64
	クラフト教室	1	20
	星空観望会(一般公開)	中止	—
	皆既月食観望会	1	110
	身近な川の生き物調査	1	26
	タンポポ調査	1	25
合計		11	323

カテゴリー	事業名		件数	人数
来村事業	千代川幼稚園	年少（3歳児）	3	138
		年中（4歳児）	4	229
		年長（5歳児）	4	180
	千代川東保育園	年中（4歳児）	1	26
		年長（5歳児）		32
	千代川小学校（5年生）		1	98
	青野小学校（全学年）		1	81
合計			14	784

カテゴリー	事業名	件数	人数
講師派遣事業	総合学習の時間「年谷川の生き物調査」（詳徳小学校）	1	42
	ホタルの夕べ（犬甘野児童館）	1	25
	千々川で遊ぼう（千代川ふれあいの会）	1	80
	第6回口丹地区研修会（私立幼稚園教職員研修会）	1	50
合計		4	197

カテゴリー	事業名	件数	人数
協力・共催事業	星空サロンat星楽館（NPO法人諸星塾）	7	36
	アサギマダラを呼び込もうPJ（地域資源を掘り起こす会）	3	66
	サイエンスフェスタ（亀岡市教育研究所）	1	70
合計		11	172

※「中止」分は事業数に含みません

平成27年度

カテゴリー	事業名	件数	人数
亀岡生き物大学	開講式	1	94
	水辺の教室	中止	—
	星空教室	中止	—
	昆虫教室	1	64
	森林教室	1	30
	気象教室	1	32
	薬草教室	1	44
	草花教室	1	40
	環境教室	1	41
	野鳥教室	1	33
	閉講式	1	86
	※登録家族数	家族（人）	
合計		9	**464**

カテゴリー	事業名	件数	人数
特別講座	皆既月食観望会	中止	—
	タンポポ調査	1	21
	亀岡星空観望会	3	126
	カイコ教室	2	69
	植物標本を作ろう	2	38
	チリメンモンスターを探せ	3	93
	手作り望遠鏡を作ろう	1	39
	クラフト教室	2	62
	野鳥の森に巣箱をかけよう	1	24
	環境自動車教室	1	33
	特別展示（亀岡の野鳥展）	1	720
合計		17	1,225

カテゴリー	事業名		件数	人数
来村事業	千代川幼稚園	年少（3歳児）	4	212
		年中（4歳児）	5	237
		年長（5歳児）	4	236
	一条保育園	年中（3歳児）	1	26
		年長（4歳児）		22
	千原区子ども会		1	52
	青野小学校（全学年）		1	81
合計			16	866

カテゴリー	事業名	件数	人数
講師派遣事業	総合学習の時間「年谷川の生き物調査」（詳徳小学校）	1	50
	ホタルの夕べ（犬甘野児童館）	1	25
	星空観望会（神前ふるさとを守る会）	2	50
	千々川で遊ぼう（千代川ふれあいの会）	1	80
	鹿谷生き物観察会（鹿谷子ども会）	1	20
合計		6	225

カテゴリー	事業名	件数	人数
協力・共催事業	星空サロンat星楽館（NPO法人諸星塾）	3	11
	化石の標本・レプリカづくり（神前ふるさとを守る会）	3	114
	夏休み特別展示（化石展）（神前ふるさとを守る会）	1	748
	アサギマダラを呼び込もうPJ（地域資源を掘り起こす会）	1	18
	サイエンスフェスタ（亀岡市教育研究所）	1	90
合計		9	981

※「中止」分は事業数に含みません

実施事業の状況　（平成26年度～28年度）

平成28年度

カテゴリー	事業名	件数	人数
亀岡生き物大学	開講式	1	126
	水辺の教室	1	105
	昆虫教室	1	77
	森林教室	1	31
	亀岡高校自然科学部の	1	22
	星空教室	1	75
	気象教室	1	32
	草花教室	1	79
	薬草教室	1	12
	環境教室	1	40
	野鳥教室	1	42
	閉講式	1	97
合計		12	738

カテゴリー	事業名	件数	人数
特別講座	タンポポ教室	1	21
	亀岡星空観望会	4	214
	カイコ教室	2	53
	ホタル教室	1	54
	親子で行く自然科学ツアー	1	32
	植物標本を作ろう	2	54
	チリメンモンスターを探せ	3	69
	手作り望遠鏡を作ろう	1	41
	クラフト教室	2	49
	野鳥観察at野鳥の森	2	44
	環境自動車教室	1	24
合計		20	655

カテゴリー	事業名		件数	人数
来村事業	千代川幼稚園	年少（3歳児）	2	61
		年中（4歳児）	3	161
		年長（5歳児）	3	148
	亀岡市立幼稚園	年少（3歳児）	1	55
		年中（4歳児）	2	60
		年長（5歳児）	1	46
	青野小学校		1	81
	千原区子ども会		1	66
	別院保育所	年少（3歳児）	1	7
		年中（4歳児）		11
	日本鳥類保護連盟京都		1	10
合計			16	706

カテゴリー	事業名	件数	人数
講師派遣事業	総合的学習の時間「年谷川の生き物調査」（詳徳小学校）	1	45
	ふれあい教室（教育研究所）	3	21
	生物生態調査の指導（奥条地区環境保全活動組織）	1	70
	千々川で遊ぼう（千代川ふれあいの会）	1	80
合計		6	216

カテゴリー	事業名	件数	人数
協力・共催事業	星空サロンat諸星塾（NPO法人諸星塾）	4	23
	100円商店街「クラフト教室」（100円商店街実行委員会）	1	33
	アサギマダラを呼び込もうPJ（地域資源を掘り起こす会）	1	10
	ムラタの手作り市「クラフト体験教室」（村田製作所）	1	180
	生活体験塾（NPO法人チョロギ村）	3	107
	サイフェンスフェスタ（亀岡市教育研究所）	1	100
合計		11	453

※「中止」分は事業数に含みません

地球環境子ども村だより

No.12

平成 28 年 5 月 26 日(木)発行

新緑がまぶしい若葉の季節になりました。

新しい学年に慣れ、子どもたちの成長も著しく感じられる時期ですね。地球環境子ども村でも新年度が始まり、新しいイベントの企画も盛りだくさんです。体験型教室や、見て楽しく学習できる企画展を開くためスタッフも勉強中です。

野鳥の森では巣箱からヒナたちが巣立ち、周りから小鳥の声がたくさん聞こえてきます。自然がいっぱいの子ども村へ、親子でハイキングがてら来てくださいね！(=^・^=)

◎1 月～3 月の催し報告

亀岡生き物大学　特別講座「親子でゲット!チリメンモンスターを探せ!」

1 月 23 日（土）午後 2 時～4 時　　参加者 23 名

チリメンモンスター（略してチリモン）はきしわだ自然資料館が提唱され、全国に広がったプログラムです。

ジャコ漁ではいろいろな種類の生き物が網にかかりますが、スーパーなどで販売しているチリメンジャコは、カタクチイワシの稚魚だけを選り分けて商品にしています。それで、無選別のチリメンジャコを使ってチリモン探しをしました。

ちょうどハイキングに来ていた親子 2 人が急きょ参加され、熱心にチリモンを探されました。「こんな楽しい事されているんですね。」と、お父さん。

講座では、海ゴミと川ゴミの関係も学習し、私たちが気をつけることは？という問いかけに、高学年らしい女の子が手をあげて、「川にごみを捨てないこと」と答えてくれました。

参加者は、それぞれ工夫をして出来上がった壁掛け標本を大事そうにもちかえりました。

（協力：きしわだ自然資料館、きしわだ自然友の会）

亀岡生き物大学　特別講座「クラフト教室」

2 月 6 日（土）午前 10 時～12 時　参加者 18 名

講　　師：京都森林インストラクター会（5 名）

森林の木の特徴と働きを学び、余分な木の枝を使って工作するクラフト教室、今回も京都府森林インストラクター協会の皆様に講師としてお世話になりました。

参加者は、野鳥の森で実際に生えている木について観察した後、実習室に戻りそれぞれ好きな木の枝を選んで、鉛筆型ストラップと、木の人形「モックン」を作りました。

↑安全な削り方を指導

ノコギリや小刀を使うのが初めてという子が多く、お母さんや先生に手を添えたもらい恐る恐る木を削っている姿が見られました。

その中で、いつも鉛筆をカッターナイフで削っているという男の子、上手に手早くストラップを完成させました。

↑参加者の作品

講座終了後、作ったストラップを握りしめ、うれしそうに帰る子どもたちの姿が印象的でした。

亀岡生き物大学　特別講座「星空観望会～冬から春の星座をみよう！～」

3 月 11 日（金）　午後 6 時半～8 時半

参加者　参加者 26 名

共催：諸星塾（亀岡天文同好会）

協力：豊中天文同好会

夕方まで空は灰色の雲が覆い、寒の戻りのような風が吹き、開催が危ぶまれましたが、天気予報の晴れを信じて観望会の

実施が決まりました。風は冷たいままでしたが、雲の晴れ間がみるみる広がり、細い三日月（正確には月齢 2.4）が西空に現れました。

一番早く訪れた参加者さん親子を誘い、望遠鏡で月の観察をしてもらいました。お母さんは「うわ～っ！すごい！」と一声、4 才のお子さんを抱き上げて望遠鏡をのぞかせました。

時間通りに観望会が始まり「星楽館わくわく講座」と題し、今日見える星や星座の案内をした後、望遠鏡で順番に観察しました。当日は、空がきれいに晴れあがり、月や木星だけでなく、大星雲の雲の様な構造や、すばるのきらめく星の集団もはっきり見えました。「寒いけど、観られて良かった！」との声もいただきました。

会場では、天文同好会とボランティアの方々が、自慢の望遠鏡を５台も設置していただき、参加者が望遠鏡を実際に動かしてみるという体験がおこなわれ、子どもたちにとても好評でした。

↑木星の縞と衛星が見えるかな？

春休み特別講座
「環境自動車教室」

3 月 26 日（土）午前 10 時～12 時　　参加者　33 名

地球環境子ども村では、京都トヨタ自動車(株)の協力のもと、環境自動車教室を開催しました。

↑ミライの車体を見学する参加者

当日は、今話題の環境に優しい究極の車『ミライ』を持ってきてもらい、水素で走る自動車の仕組みを学習しました。参加した親子は、水素自動車に興味津々で、京都トヨタ自動車(株)の講師の先生から話を聞くだけではなく、実際に水素自動車に試乗して、環境に優しい自動車技術を体感しました。いつも自分たちが使っている自動車がどのような影響を地球環境に与えているのかを知り、普段の生活から環境に配慮した生活を送ることが大切であることを学びました。

◆◆ここから平成２８年度◆◆

亀岡生き物大学特別講座
「タンポポ教室」

4 月 9 日（土）午前 10 時～12 時

講師：鈴木　武氏（兵庫県立人と自然の博物館研究員）

参加者　21 名

タンポポ教室当日は、春らしく暖かい観察日和となりました。鈴木武先生の講義を受けた後、参加者と外へ観察に出かけました。子どもたちは目ざとくタンポポを見つけ、先生に質問です。「これはカンサイタンポポ、これはセイヨウタンポポ、これは雑種ですね！」先生はその都度、わかりやすく説明してくださいました。また、シロバナのカンサイタンポポという、珍しい個体を見つけた子もいました。↑シロバナ見つけた！

子どもたちも神前の野の道で、タンポポをたくさん摘んだり、カエルを見つけて追いかけたりと、タンポポ教室を満喫してくれました。

「これ何ですか？」にやさしく答える先生↑

（文責：植木）

※講座のお問い合わせは下記へお願いいたします。

地球環境子ども村

〒621-0242　亀岡市宮前町神前長野１５

TEL：26-6100　　FAX　26-5002

E-mail：　kodomomura@city.kameoka.kyoto.jp

地球環境子ども村だより

No.15

平成 28 年 9 月 20 日(火)発行

夏休みも終わり、あっという間に 9 月中旬、秋のお彼岸です。ヒガンバナの美しい季節になってきました。学校では、運動会シーズンが到来です。

地球環境子ども村では、今年の 6 月に生まれた鈴虫が、8 月下旬から鳴きはじめました。秋の始まりを告げる涼やかな音色が、館内に響いています。

この秋もいろいろなイベントを企画しています。一般参加できるイベントは、「きらり亀岡おしらせ」やフェイスブックで随時お知らせしたいと思っています。みなさまのご参加を、心よりお待ちしております。(=^・^=)

◎夏休み前半（７月～８月上旬）の行事報告

亀岡生き物大学「水辺の教室」

7 月 23 日（土）午前 10 時～12 時

参加者：105 名（子ども 56 名、保護者 49 名）

昨年は中止になった水辺の教室、今年こそ実施したいとのみんなの願いが届いたか、とても良い天気となりました。本日は共催のサイエンスフレンズの参加者(子ども 24 名、保護者 24 名）も含め,総勢 150 名を超える大イベントになりました。

まず、子どもたちは、保津川のゴミを拾い環境整備を行いました。次に、川についての注意を受け、ライフジャケットを着てわんど（湾処）に入り、水生生物の観察をしました。子どもたちの網に、いろいろな生き物が入ります。歓声がそこらかしこで上がり、捕まえた生き物の名前を先生方にたずねる姿が目にされました。

↓保津川に入り、生き物探し！何がいるかな？

中間に休憩をとり、給水タイムに「もりかみ協議会※1」よりご提供をいただいたカートカン飲料のリンゴジュースを配りました。「おいしい」と大好評でした。

一息ついて、捕まえた生き物の名前と特徴を先生がお話してくれた後、保津川の本流に向かい、ロープの内側で生き物探しをしました。先生の一人が、投網を披露すると、子どもたちは我先に網のそばに寄って行き、とれた魚を観察しました。また、近くを保津川下りの船が通り、子どもたちが手を振ると乗客も答えてくれて、ほほえましい交流も見られました。

ボランティアの方々の見守りもあり、全員無事に行事を終わることが出来ました。「良い思い出になります。」と保護者の方にも言っていただきました。ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

共催：亀岡市教育研究所、亀岡市環境事業公社

指導：NPO 法人亀岡人と自然のネットワーク

協力：京都学園大学学生ボランティア

地球環境子ども村チコーズ

※1 森を育む紙製飲料容器普及協議会の略称

夏休み特別講座
「植物標本を作ろう！」１回目
◎植物を採取し、押し花（押し葉）を作ろう！

7 月 28 日（木）午前 10 時～12 時

参加者：28 名（子ども 17 名、保護者 11 名）

講師：井尻俊之氏（亀岡植物誌研究会、元高校教諭）

まず講座で植物の見分け方を習った後に、野外に出かけました。地球環境子ども村の近くの神前の里道は、夏の野草の宝庫で、植物採集にもってこいの場所でした。

そこで、花が咲いている野草を見つけては、先生に名前を聞きながらどんどん採集しました。「コマツナギ」や「キツネノマゴ」「オニユリ」など、おもしろい名前の植物がたくさん見つかりました。

教室に帰り、植物標本の正しい押し方を学びます。形を整え、新聞紙に挟んで約 1 か月間、根気よく間の新聞紙を取り換えながら植物を乾燥させて標本を作ります。

子どもたちは、ひもで結んだ新聞紙の束を、宝物のように抱えて帰っていきました。

↓標本は根から掘り採ります。

夏休み特別講座
「カイコ教室」１回目
「カイコについて学びましょう！」

7 月 30 日（土）　午前 10 時～12 時

参加者 27 名（子ども 16 名、保護者 11 名）

カイコの歴史や飼い方、地球環境との関係などを学びます。講師の服部先生の、おもしろい冗談を交えてのお話しに、小さい子どもたちも楽しそうに聞いていました。そのなかでも、シルク製品に、カイコの繭をどのくらい使っているかのクイズもあり、子どもたちは自然とカイコの魅力にひかれていきます。休憩のときに、桑の葉で作ったお茶を「いい香りがする」「おいしい！」など普段とは違う風味を参加者全員で体験しました。休憩後は、子ども村で飼育しているカイコの成虫や繭、などを実際に手に取りながらじっくり観察しました。

講義終了後参加者に、服部先生からのカイコ三匹と桑の葉がプレゼントされ、持参した箱やケースに入れ、持ち帰りました。子どもたちにカイコの世話をきちんとしてもらい、きれいな色の繭をつくり、立派な成虫になるのをしっかり観察してほしいものです。

↓真綿を延ばしてみます。フワフワです。

夏休み特別講座
「親子でゲット！チリメンモンスターを探せ！」

8 月 1 日(月)　参加者 26 名（子ども 16 名、保護者 10 名）

8 月 2 日(火)　参加者 33 名（子ども 20 名、保護者 13 名）

チリメンジャコに入っているカニやエビ、タツノオトシゴなど、様々生き物を探し、紙皿に貼り付けて標本を作ります。海の環境について考え、たくさんの海の生き物について学びます。今回は、低学年のお子さんが多く参加してくれました。

最初は、魚の種類もあまり区別がつかないようでしたが、だんだん目が慣れてたくさんのチリモンを見つけることができました。

名前を調べて紙皿に書き込み、モールやリボンで吊り手を作り、紙皿標本の出来上がり。「夏休みの作品が出来た!」と言って喜ぶ子もいました。「海の小さな生き物を守るためにどうしたらいいと思う？」と聞くと、「川を汚さないこと。」としっかり答えてくれました。

↓チリモン探しに熱中!!

今後の予定

亀岡生き物大学「草花教室」

9 月 24 日(土)　午前 9 時 30 分～11 時 30 分

大本本部内の「花明山植物園」で、草花の観察をします。

アサギマダラを呼び込もうプロジェクト in 亀岡

10 月 1 日(土)　午前 9 時～11 時

（主催：地域資源を掘り起こす会、協力：地球環境子ども村、保津農業組合）保津町のフジバカマ畑にて、アサギマダラの観察とマーキング、フジバカマの匂い袋作りなどをします。

※講座などのお問い合わせは下記まで（文責：植木）

地球環境子ども村

亀岡市宮前町神前長野１５

℡：26 - 6100　　Fax：26 - 5002

Email：kodomomura@city.kameoka.kyoto.jp